

# 広報のしろ



発行人 能代市役所 桜田 善治 印刷 小沢 印刷

## 健康な稲づくり運動推進に 小畑知事が能代市を訪問

今年の秋田県政の一つの大きなスローガンに「健康な稲づくり」というのがあります。小畑知事サンは、今年こそ立派な稲作をと全県一斉に健康な稲づくり運動をはじめました。そこで五月一日、能代市に足を運び東奥東部や浅内、河戸川などを巡回、農家の人々を激励しました。

【写真は市長室で一寸休憩して、豊沢市長と話し合っているところです。】



## 日赤募金運動が はじまりました

### 5月の臨時市議会は 13日から 五月の臨時市議会は開かれます

五月の臨時市議会は、三十九年度国保特別会計の補正のこと、市の条例制定のこと、専決処分報告の件などあげられておりますが、中心となるのは条例制定で、市の仕事が多くなったので新しく都市計画課とか管財課などを設けようというわけですが、会期や日程は議会運営委員会で十二日にきめますが、会期は二三日と予定されています。

ことに六日告示されました。

今年の日赤十字募金運動は五場に分けて、五月一日からはじまるための募金運動ですが、能代市の目標額は百十三万五千円と予定されております。このため市民課が中心になって大口募金や各戸別募金、各会社団体の募金運動をおし進めませんが、この募金目標を達成するには各自治会で募金する戸別募金が大きな力になっておりますので、各自治会のみならず各格段のご協力をお願いしなければなりません。一世帯平均九十円ほどの募金を願うことができると能代市の目標も達成することになっていきます。いまは日赤募金もはじまったばかりで、六日現在で八万円ほど集まっています。

### \*\*\*各地区初養老のお喜びの人々\*\*\*

鶴形、扇淵、楡山三地区の養老式は四月二十九日。浅内地区は五月二日、それぞれ小学校でめでたく挙行、お祝いの式や喜びの余興など大変和やかに行われ一日をたのしみました。

各地区の七十才になられた初

今年の日赤十字養老の人たちはみんな元気で会字募金運動は五場に見せ、どの人も七十と月一日からはじめると思われない方ばかりでした。ま、五月いそのお名前は次の通りです。

（敬称略）

鶴形地区（九名）  
小林和吉、小林甚八、小林吉治郎、若松鶴治、笠井伝太郎、渡部福治、小林アキ、飯坂利栄（谷地）佐藤ハル（藤）

扇淵地区（十二名）  
武田専之助、武田チヨ、青山フチノ、小笠原ナカ（機織）柴田ナミエ、松田舟之助、戸松老之助、宮腰ナカ、竹島彦三郎、竹島拾五郎、渥美雄助（誠淵）大鐘ミチ（道地）

楡山地区（十八名）  
野呂文吉、鈴木リヨ、勝原キク渡部イト、藤井キヨ、加藤米松（本町）斎藤マツエ、大淵アネ（小沢口）渡部アキ、渡部与吉（羽立）小杉山ヨシ、小杉山ヤエ、小杉山猪之松（上母体）田川セツ、田口ミノ（中沢）鶴木ノブ（赤坂）落合リツ、松山キエ（大森）

浅内地区（二十一名）  
原田福治、武田ナヨ、梅田キン（浅内）佐藤金治郎、山条タヨ平川キワ、平川サワ（中浅内）武田多吉、平川フジ、平川与吉（浜浅内）保坂千代治、保坂富吉（石丁）保坂福治、野呂田忠衛（福田）今野ノブ（成合）金谷藤吉、小川サワ、小川タキ、（黒岡）大塚兵七、大塚竹之助大塚エサ（河戸川）

なお、能代市の最高齢者は九十才七才道地の落合惣治郎さんです